

第1回 小中学校の教育環境の 改善・向上に関する有識者会議

「神戸市における学校教育環境の整備」

神戸市教育委員会

- I. 神戸市の学校教育環境整備
- II. 学校教育環境整備の取組状況
- III. 学校教育環境を取り巻く
主な情勢の変化

I. 神戸市の学校教育環境整備

第3期神戸市教育振興基本計画（令和2年度～令和5年度）
「明日につなげる新・こうべ教育プラン」

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

重点事業12 ICTの基盤整備と利活用の促進

第3期神戸市教育振興基本計画

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備（抜粋）

【主な取組】

①学校の適正規模化

- ・小規模化している小中学校について、統廃合も含めた校区調整による適正規模化を推進。

②学級増対策の推進

- ・住宅開発等に伴う児童生徒の急激な増加によって過密化が進む小中学校について、校舎の増改築や暫定校舎の整備、学校の分離新設、校区調整等、各校の状況に応じた対策を実施。

第3期神戸市教育振興基本計画

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備（抜粋）

【主な取組】

③学校施設の老朽化対策の推進

- ・ 学校施設の計画的な保全整備を行い、長寿命化を推進。「神戸市学校施設長寿命化計画」に沿って建築後25年以上を経過した改修が必要な学校園施設を中心に大規模改修、長寿命化改修（全面改修）や改築を実施。
- ・ 学校施設の安全点検を徹底し、専門業者による安全点検パトロールの実施等による点検の充実を図るとともに、補修等の必要な対策を実施。

第3期神戸市教育振興基本計画

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備（抜粋）

【主な取組】

④学校施設の機能向上

- ・児童生徒が円滑に移動できるようエレベーターの設置などのバリアフリー化を推進。
- ・学校施設のトイレの老朽改修及び洋式化を推進。

⑤学校施設の異常高温対策

- ・近年の夏の猛暑を受けた熱中症対策として、整備済みの普通教室に続き、自然災害発生時の避難所としての役割も踏まえ、特別教室や体育館において更なる空調整備を推進。

第3期神戸市教育振興基本計画 重点事業12 ICTの基盤整備と利活用の促進（抜粋）

【主な取組】

①GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT学習環境整備の推進

- ・「神戸市ICT学習環境整備計画」に則り、全ての市立小学校・中学校・特別支援学校・義務教育学校・高等学校・工業高等専門学校[※]の普通教室に、大型提示装置（電子黒板機能付プロジェクタ等）や実物投影機（小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部のみ）、無線LAN（アクセスポイント）等を整備。
- ・感染症のまん延や大規模災害時においても児童生徒一人一人の学びを保障するため、小・中学校児童生徒1人1台の児童生徒用PC（タブレット）の整備に早急に取り組むとともに、それらを活用するためのデジタル教科書・教材などの導入についても検討。

Ⅱ. 学校教育環境整備の取組状況

(1) 適正規模化・学級増対策の推進

- 小規模校対策
- 学級増対策

(2) 施設・設備等の改善・向上

- 老朽化対策
- バリアフリー対策
- 異常高温対策
- その他機能向上対策

(3) 情報化の推進（ICT環境整備）

(4) 学級編制基準の見直し（35人学級制）

神戸市立小中学校の設置数

小学校：	163校
中学校：	82校

(1) 適正規模化・学級増対策の推進

○小規模校対策

- ・ 学校統合
- ・ 校区調整
- ・ 農村地域における魅力化・特色化

○学級増対策

- ・ 分離新設
- ・ 校区調整
- ・ 校舎増改築・暫定校舎の整備



灘の浜小学校 令和3年4月新設

小規模校対策（近年の取り組み）

○学校統合

実施年度	統合前			統合後		
	学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	児童数
H28	丸山小	8	228	丸山ひばり小	12	354
	雲雀丘小	6	153			
H31	有野台小	7	220	ありの台小	12	371
	有野東小	7	177			
R3	多聞南小	7	187	多聞の丘小	12	346
	本多聞小	6	182			

○校区調整

実施年度	対象地区・対象校	内 容
H29	長尾小学校区全域 （長尾小・北神戸中 →大沢小・大沢中）	長尾小学校・北神戸中学校の過密化対策及び大沢小・大沢中の小規模化緩和対策として希望選択制の実施
R3	多聞南小学校区の一部 （多聞南小→多聞東小）	多聞南小学校・本多聞小学校の統合にあわせて、多聞東小学校の小規模化緩和対策として校区調整の実施
	谷上小学校区及び箕谷小学校区全域 （谷上小・箕谷小 →山田小）	山田小学校の小規模化緩和対策として希望選択制の実施

※統合前の数値は実施年度の前年度数値

※学級数に特別支援学級は含まない

小規模校対策（近年の取り組み）

○農村地域における魅力化・特色化

	実施校	内 容
小規模特認校	<ul style="list-style-type: none"> ・六甲山小（平成14年度～） ・藍那小（平成24年度～） 	校区を限定せず、市内のどの地域からでも就学可
希望選択制	<ul style="list-style-type: none"> ・大沢小（平成29年度～） ・山田小（令和3年度～） 	隣接する校区から希望により就学可
小中連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・八多小・八多中 （令和5年度より実施予定） 	小中9年間一貫の義務教育学校へ移行し、中学校教員による教科担任制の実施など、特色ある教育活動を行う
	<ul style="list-style-type: none"> ・淡河小・好徳小、淡河中 （令和2年度～） 	文部科学省の学園制加配事業を活用し、複数小学校と中学校との連携（合同授業・交流行事等）による義務教育9年間を通じた教育活動を推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・押部谷小・月が丘小・北山小・高和小、押部谷中 （令和4年度より実施予定） 	

学級増対策（近年の取り組み）

○分離新設

実施年度	分離前			分離後		
	学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	児童数
H26	井吹東小	4 4	1 6 0 0	井吹の丘小	2 6	9 1 6
				井吹東小	2 3	8 1 8
H28	本多聞小	2 4	7 3 3	舞多聞小	2 2	6 8 3
				本多聞小	8	2 3 5
R 3	なぎさ小	1 9	6 2 7	灘の浜小	1 3	3 9 6
				なぎさ小	1 3	3 7 4
	西灘小	1 7	5 6 9	西灘小	1 4	4 2 4

※分離前の数値は実施年度の前年度数値
 ※学級数に特別支援学級は含まない

※赤字が新設校

○校舎増改築・暫定校舎整備

実施年度	学校名
H28	西灘小学校
	藤原台小学校
H29	向洋小学校
H30	小束山小学校
	千鳥が丘小学校
	井吹台中学校
H31	成徳小学校
	西郷小学校
	北神戸中学校
R 2	御影北小学校
	舞多聞小学校
	本多聞中学校
R3	山の手小学校
	本山第一小学校
	妙法寺小学校
R4	高羽小学校

学級増対策（近年の取り組み）

○校区調整

実施年度	対象地区・対象校	内 容
H28	向洋小学校区の一部 （向洋小→六甲アイランド小）	向洋小学校の過密化対策として校区調整の実施
H29	長尾小学校区全域 （長尾小・北神戸中→大沢小・大沢中）	（再掲）長尾小学校・北神戸中学校の過密化対策及び大沢小学校・大沢中学校の小規模化緩和対策として希望選択制の実施
H30	こうべ小学校区及び山の手小学校区全域 （こうべ小・山の手小・神戸生田中 →和田岬小・浜山小・吉田中）	こうべ小学校・山の手小学校の過密化対策として希望選択制の実施
H31	だいち小学校区の一部 （だいち小・太田中→板宿小・飛松中）	だいち小学校の過密化対策として希望選択制の実施
R 2	だいち小学校区の一部 （だいち小・太田中→駒ヶ林小・駒ヶ林中）	灘の浜小学校の分離新設にあわせて、周辺校の過密化対策として校区調整の実施
	宮本小学校区・春日野小学校区の一部 （宮本小・筒井台中、春日野小・葺合中 →なぎさ小・渚中）	
R 3	西灘小学校区・なぎさ小学校区の一部 （西灘小・なぎさ小→灘の浜小）	
R 4	稗田小学校区の一部 （稗田小→西灘小）	

(2) 施設・設備等の改善・向上

○老朽化対策

- ・ 学校施設の長寿命化

○バリアフリー対策

- ・ 車椅子利用者用トイレ
- ・ スロープ等による段差解消
- ・ エレベーター

○異常高温対策

- ・ 空調設備の設置

○その他機能向上対策

- ・ トイレの洋式化
- ・ 手洗いの自動水栓化
- ・ 照明設備のLED化



老朽化対策

○学校施設の長寿命化

【現状】

- ・ 建築後30年以上経過しているものが全体の約6割（第2次ベビーブームに対応して多くの施設を昭和40年代半ばから昭和50年代後半に整備）
- ・ 阪神・淡路大震災により建て替えた施設が建築後20年以上経過

【対策・整備方針】

- ・ 神戸市学校施設長寿命化計画（平成31年3月）を策定し、平成31年度から令和10年度にかけて計画的に予防保全
- ・ 個々の学校の施設・設備の現状を踏まえ、物理的な不具合を直し、施設の耐久性を高めることに加え、施設の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修を実施

老朽化対策

○学校施設の長寿命化

【実施状況】

	実績				R4 (予定)
	R1	R2	R3	計	
長寿命化改修 (築50年以上)	1	1	1	3校	3
大規模改修 (築25～49年)	10	40	16	66校	17
合計	11	41	17	69校	20

※毎年10～20校程度実施予定

※令和4年度は現在議会において事業費予算の審議中



バリアフリー対策

【現状】

- ・兵庫県「福祉のまちづくり条例」に基づき、平成4年度以降に新增築した建物にはバリアフリー化を実施
- ・令和2年5月「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」改正に伴い、国が既存校においても令和7年度までの整備目標を示す

対 象		目 標
車いす使用者用トイレ		避難所に指定されているすべての学校に整備
スロープ等による 段差解消	門から建物の前まで（外部）	全ての学校に整備
	昇降口・玄関等から教室まで（内部）	
エレベーター		要配慮児童生徒が在籍するすべての学校に整備

【対策・整備方針】

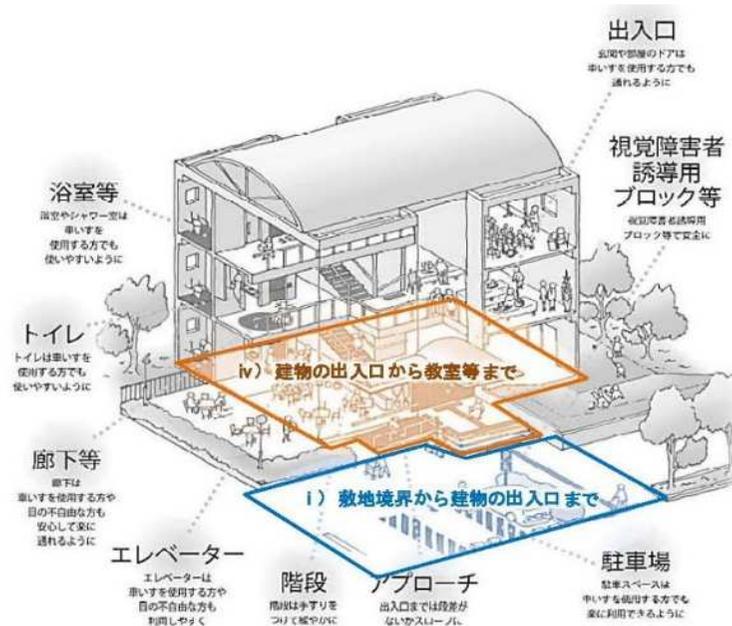
- ・長寿命化改修・大規模改修等にあわせてバリアフリー改修を実施

バリアフリー対策

【実施状況】

対 象		神戸市 (R2.5現在)	(参考)全国平均 (R2.5現在)	
車いす使用者用トイレ	校舎	70.4%	65.2%	
	屋内運動場	47.3%	36.9%	
スロープ等による段差解消	門から建物(外部)	校舎	91.5%	78.5%
		屋内運動場	77.6%	74.4%
	玄関から教室(内部)	校舎	81.0%	57.3%
		屋内運動場	73.1%	57.0%
エレベーター	校舎	70.4%	27.1%	
	屋内運動場	80.4%	65.9%	

※全国平均データは文部科学省による調査資料より



異常高温対策

○空調設備の設置

【現状・整備方針】

- ・普通教室には小中学校全校に整備済（平成27年度完了）
- ・体育館や特別教室についても順次整備を進める
- ・部活動等により使用頻度の高い中学校の体育館については、令和2年度に全校の整備を完了
- ・小学校の体育館は令和3年度より3か年で全校に整備する予定

異常高温対策

○空調設備の設置

【実施状況】

教室の種類		神戸市 (R3.9現在)	(参考) 全国平均 (R2.9現在)
普通教室		100%	92.8%
特別教室		81.7%	55.5%
体育館等	小学校	0.6%	5.3%
	中学校	90.6%	

その他機能向上対策

○トイレの洋式化

【現状・整備方針】

- ・衛生面の対策として、全ての学校園のトイレについて洋式化を推進（令和3年度で全校の洋式化を完了予定）
 - 全面改修 …床や配管、便器などを全面的に改修
 - 便器改修 …便器のみを和式から洋式に改修
- ・整備にあたっては、洋式便器を嫌う児童生徒のため一部に和式便器を残す



その他機能向上対策

○トイレの洋式化

【実施状況】

全面改修	R1	R2	R3（予定）	合計	（参考）全国平均 （R2.9現在）
全面改修	23校	22	25	70	—
便器改修	29校	25	3	57	—
洋式化完了校の割合	69.4%	88.6%	100.0%	100.0%	—
洋便器率	63.6%	74.7%	81.4%	81.4%	57.0%
洋式便器の割合	8,329/13,099	9,786/13,099	10,660/13,099	10,660/13,099	—

その他機能向上対策

○手洗いの自動水栓化

【現状・実施状況】

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、全小中学校の屋内手洗い場の水栓約2万箇所を自動水栓化（令和3年度中に完了予定）
- ・実施にあたってはESCO事業（省エネルギー改修によって、改修に係る費用を改修後の光熱水費削減額で賄う事業）を活用



その他機能向上対策

○照明設備のLED化

【現状・実施状況】

- ・省エネルギー対策として全小中学校の教室や廊下等の主要な照明器具約15万灯をLED化（令和3年度中に完了予定）
- ・実施にあたってはESCO事業（省エネルギー改修によって、改修に係る費用を改修後の光熱水費削減額で賄う事業）を活用
- ・新型コロナウイルスの影響により、納期に遅れがでている黑板灯などの一部照明器具や体育館照明については、令和4年9月末までに完了する予定



(3) 情報化の推進 (ICT環境整備)



ICT環境整備

【実施状況】

○普通教室に電子黒板機能付プロジェクタ、実物投影機、無線LAN等の設置

・令和3年度までに全小中学校に整備完了

（無線LANは、令和2年度までに普通教室・特別教室に整備完了）

○小中学校の1人1台の児童生徒用PC(タブレット)及び高速大容量の通信ネットワークの整備

・令和2年度に完了（新型コロナウイルス感染症への対策を踏まえて大幅に前倒し）

ICTの活用

【目的】

「主体的・対話的で深い学び」「個別最適化された学び」の実現に向けて、1人1台の端末等のICT機器を最大限活用し、既存の教材や学習方法と適切に組み合わせながら、子どもたちの確かな学力の育成を図る。

【機器等の導入状況】

- ・ 普通教室への電子黒板、実物投影機等の設置
- ・ 無線LAN、高速大容量ネットワークの整備
- ・ 1人1台の学習用パソコンの配備
- ・ 教員用デジタル教科書やデジタルドリル等の導入



資料：文部科学省「新学習指導要領における情報教育の充実について」より

【活用方法】

- ・ 学校（授業）や家庭学習での活用に加えて、学級閉鎖等の際はオンラインによる学習支援に活用する。

ICTの活用

【現状】

- ・ 児童生徒、教員ともに操作方法の習得は進んでおり、授業での効果的な活用に取り組んでいる。 ※市教委から活用モデルや授業動画を示し先進事例を共有
- ・ 児童生徒に対して、情報モラルに関する指導を繰り返し行っている。
- ・ やむを得ず登校できない児童生徒（学級閉鎖や感染不安）に対して、オンラインによる学習支援（授業ライブ配信、オンライン授業、デジタルドリル等）を積極的に実施している。

【課題】

- ・ 授業での端末等の活用にあたり、教員間や学校間で格差が生じている。
- ・ 教員に対してICTを活用した具体的な「授業モデル」の提供が求められている。



ひらこう 学び

学びが変わるGIGAスクール

市立小中学校で児童・生徒一人一人に学習用パソコンを備えての学習に活用するなど、いま子どもたちの学びのつづきです。今月は、学習用パソコンを活用した新しい学び効果や、実際の授業の様子について紹介します。

の世界

ール構想

貸し出し、授業や影が大きく変わり学びの形もたら



学習用パソコンが導入され、1年。さまざまな活用方法がある中で、子どもたち自身が、前のめりになって「知りたい」「見つけたい」とより主体的に学ぶように、大きく変わりました。受け身だった学習が、自分事になっていることに驚きを感じています。一方で、学習用パソコンの導入で情報モラルが課題になっています。子どもは、大人が考え付かないトラブルに巻き込まれることもあるので、家庭と学校が協力して解決していくことが大切であると考えます。これからは楽しく主体的に学んでいく過程で、学力の向上に加え、思考力や判断力を身に付けていってほしいです。

山崎 優子 校長

GIGAスクール構想とは

1人1台の学習用パソコンと高速大容量の通信ネットワークを整備し、これまでの教育方法とバランスよく組み合わせ、全ての子どもにとって質の高い学びを実現することを目標と取り組んでいます。



Global and Innovation Gateway for All (GIGA)

学習用パソコンでどんなことができるの？

一人一人に合わせた学習

デジタルドリルを使うことで、一人一人がそれぞれの進捗度や進度に応じた学習ができます。



友達と意見を出し、協働して進める学習

授業の中で、一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有でき、簡単に意見を交換できます。またウェブ会議システムを使って、他の地域の学校との交流学習を通じ、さまざまな考えに触れられます。

知りたいことを簡単に調べ学習

インターネットですぐに調べることができるので、学びを深め、発表時の資料などに使うことができます。

充実した家庭学習

必要に応じて持ち帰り、家庭での宿題や調べ学習で活用します。方が、臨時休業などによって、インターネットを使ったオンライン学習などが可能です。



GIGAスクールの授業をのぞいてみました!

2年生 生活の時間

2年生3組では、グループになり「町たんけん～自慢のお店」をテーマに、自分たちが撮影した写真を使いながら、学習用パソコンでみんなを紹介するスライド資料を作っています。クラス内での発表にとどまらず、ウェブ会議システムを活用し、隣の学校の児童とも発表し合っています。



学習用パソコンを使う授業は、いろんなことができるので、楽しくて好きです。ほかの学校の人の話を聞いて、新しい発見もありました。

2年生 吉永 久義 さん



学習用パソコンを使いながら家庭と一緒に工夫することで、質の高い資料を作ることができ、子どもたちは自信をもって発表することができました。

3年生 川上 結大 先生



3年生 国語の時間

3年1組では、季節の言葉や学芸会「春から想像されるもの」の絵をパソコン上で各自が書き、絵の内容や選んだ理由をグループ内で発表しています。全員の色をプロジェクターで画面上に投影し、みんなで見え出し合っています。



成徳小学校(西区)の授業で、学習用パソコンを使っている様子を紹介しています。



5年生 体育の時間

5年生5組では、遊び感を兼ねた様子を学習用パソコンで撮影し、記録された動画をグループですぐに観覧しています。動画を観ながら、自分の動き方を確認したり、友達からアドバイスをももらったりしながら、次に生かします。



自分のフォームを客観的に見られるので課題に気づけたり、友達からもらえるようなアドバイスももらえたりするようになりました。

5年生 寄野 晋也 さん



子ども同士のコミュニケーションが活発になり、主体的な発表が生まれています。相手に伝えることの大切さや学習回をも感じています。

北野 裕博 先生



編集後記 学校に取材で訪れた際、子どもたちは学習用パソコンを「文房具」として活用しながら、楽しく前向きに、授業に取り組んでいました。新たな学びの形によって、子どもたちの世界や可能性が大きく広がっていると感じました。

[神戸市総合コールセンター (☎333-3330 (F)333-3314)]

久元市長の神戸を想う

人間と道具の関係性について

仕事をするときも、勉強するときも、道具が必要だと、良い道具を上手に使えば、同じ時間でも、良い仕事が出来、勉強の身に付く量も、それだけ手際よく進みます。道具が、一体にならなくとも、求められるような気がしますが、道具の関係をどう捉えるか、なにかある気がしています。そして、テクノロジーにより道具が進化して、人間と道具の関係をどう捉えるか、なにかある気がしています。人間は道具が振り回されたり、道具が道具として人間に道具に支配されるようなことが、絶対に起きないようには、人間が、竹中大工道具館を訪問し、道具の歴史や、道具の進化について、いろいろと学ばせてもらっています。

神戸市長 久元 喜徳

(4) 学級編制基準の見直し



学級編制基準の見直し

【内容・実施状況】

- ・国の制度変更にあわせて、小学校の学級編制の標準を現行の40人（第1学年は平成23年度より35人）から35人へ、令和3～7年の5年間で段階的に引き下げ。

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
小1	35人	35人	35人	35人	35人	35人
小2	※40人	35人	35人	35人	35人	35人
小3	※40人	※40人	35人	35人	35人	35人
小4	※40人	※40人	※40人	35人	35人	35人
小5	40人	40人	40人	40人	35人	35人
小6	40人	40人	40人	40人	40人	35人

※選択制により35人学級の実施あり（国の加配制度活用）

- ・段階的な35人学級編制による学級増には、校舎の増築や教室改修等の学級増対策により必要な教室数を確保

Ⅲ. 学校教育環境を取り巻く 主な情勢の変化

- (1) 人口減少・少子化のさらなる進行
- (2) 情報化の加速度的な進展
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策（ウィズコロナ）
- (4) 学級編制基準の見直し

(1) 人口減少・少子化のさらなる進行

- 図1 神戸市立小学校の児童数及び学校数の推移
- 図2 神戸市立中学校の生徒数及び学校数の推移
- 図3 神戸市立小・中学校の1校あたり児童・生徒数の推移
- 図4 神戸市将来推計人口(総人口)
- 図5 神戸市将来推計人口(年齢階層別人口)

図1 神戸市立小学校の児童数及び学校数の推移

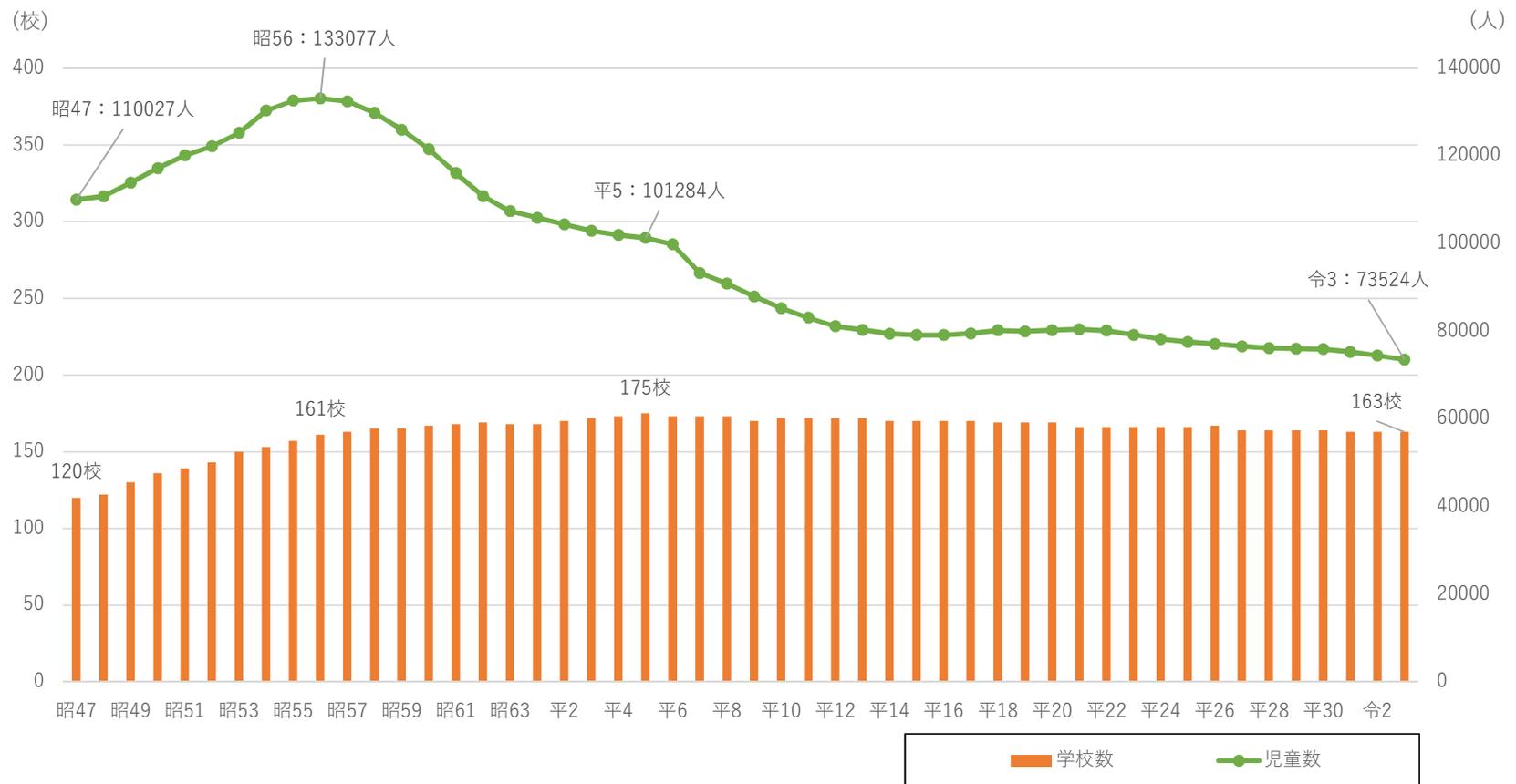


図2 神戸市立中学校の生徒数及び学校数の推移

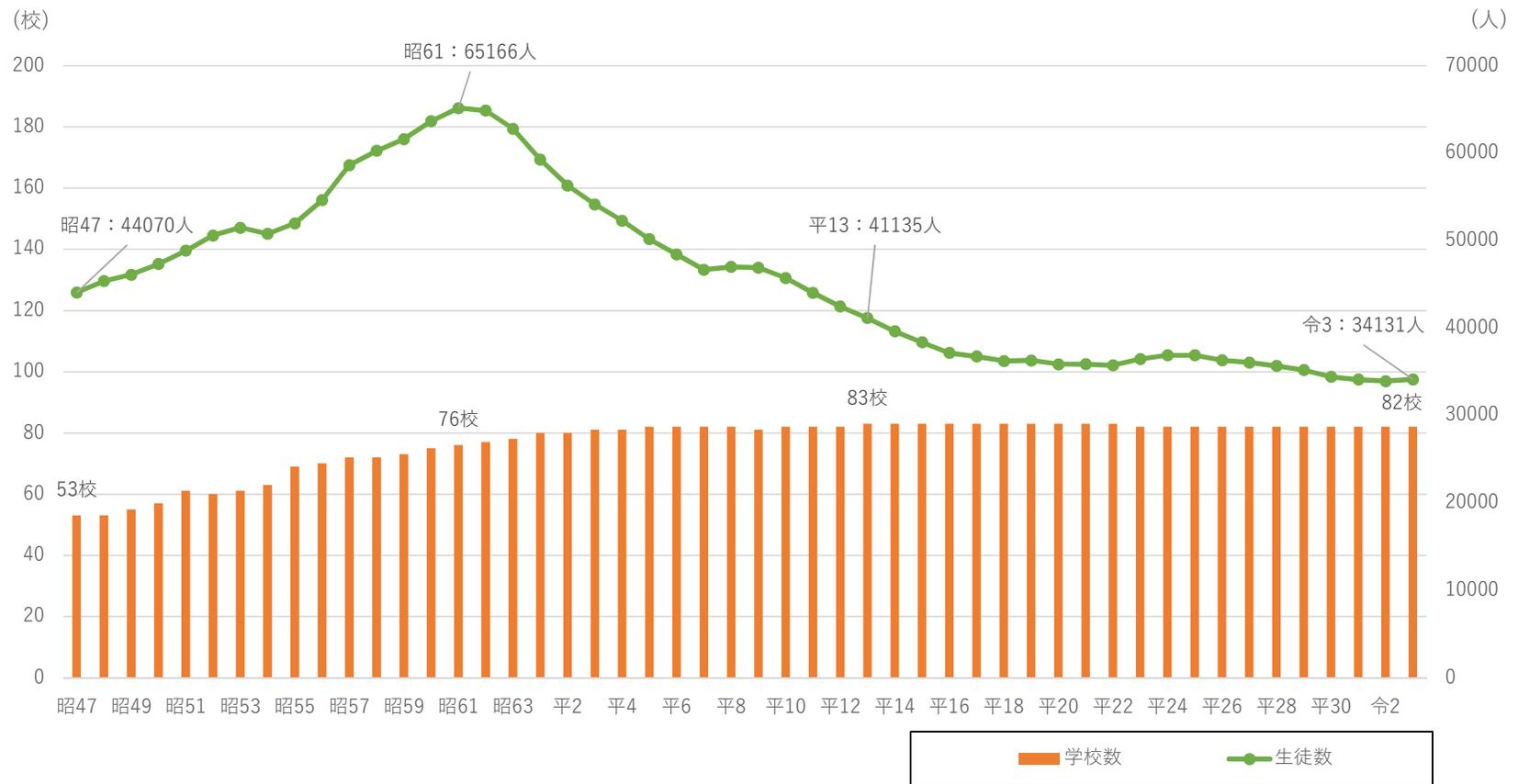


図3 神戸市立小・中学校の1校あたり児童・生徒数の推移

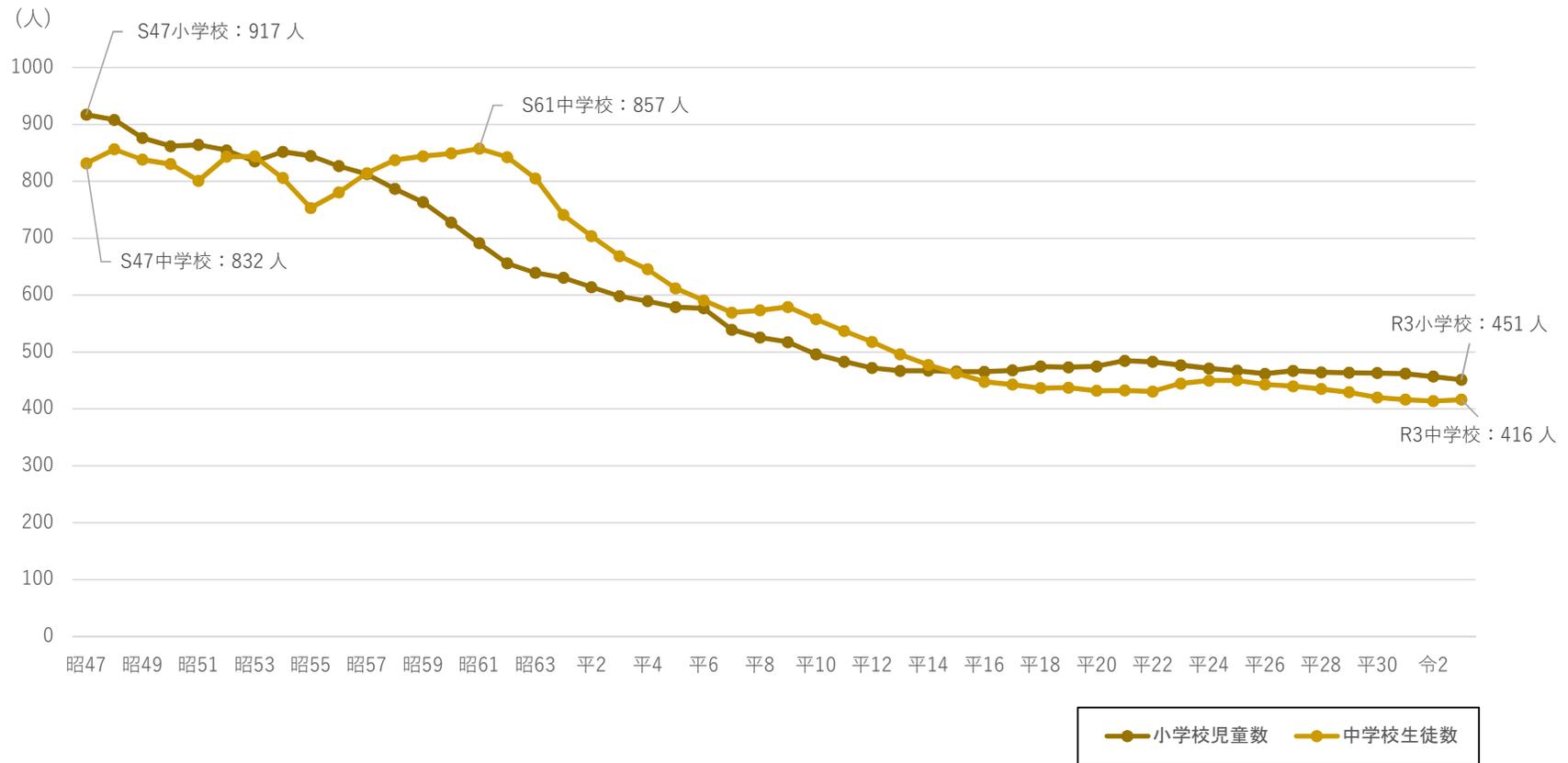
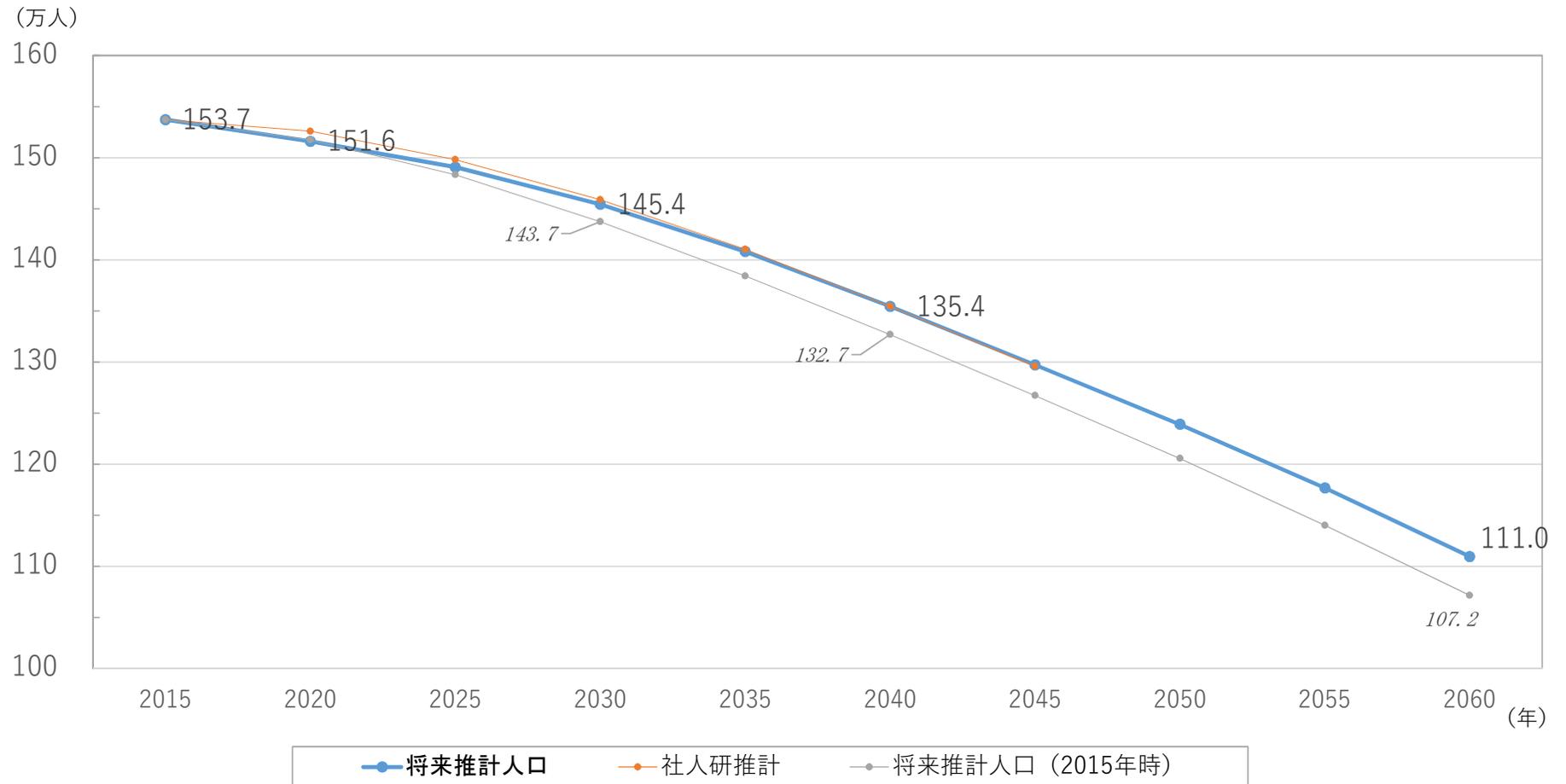
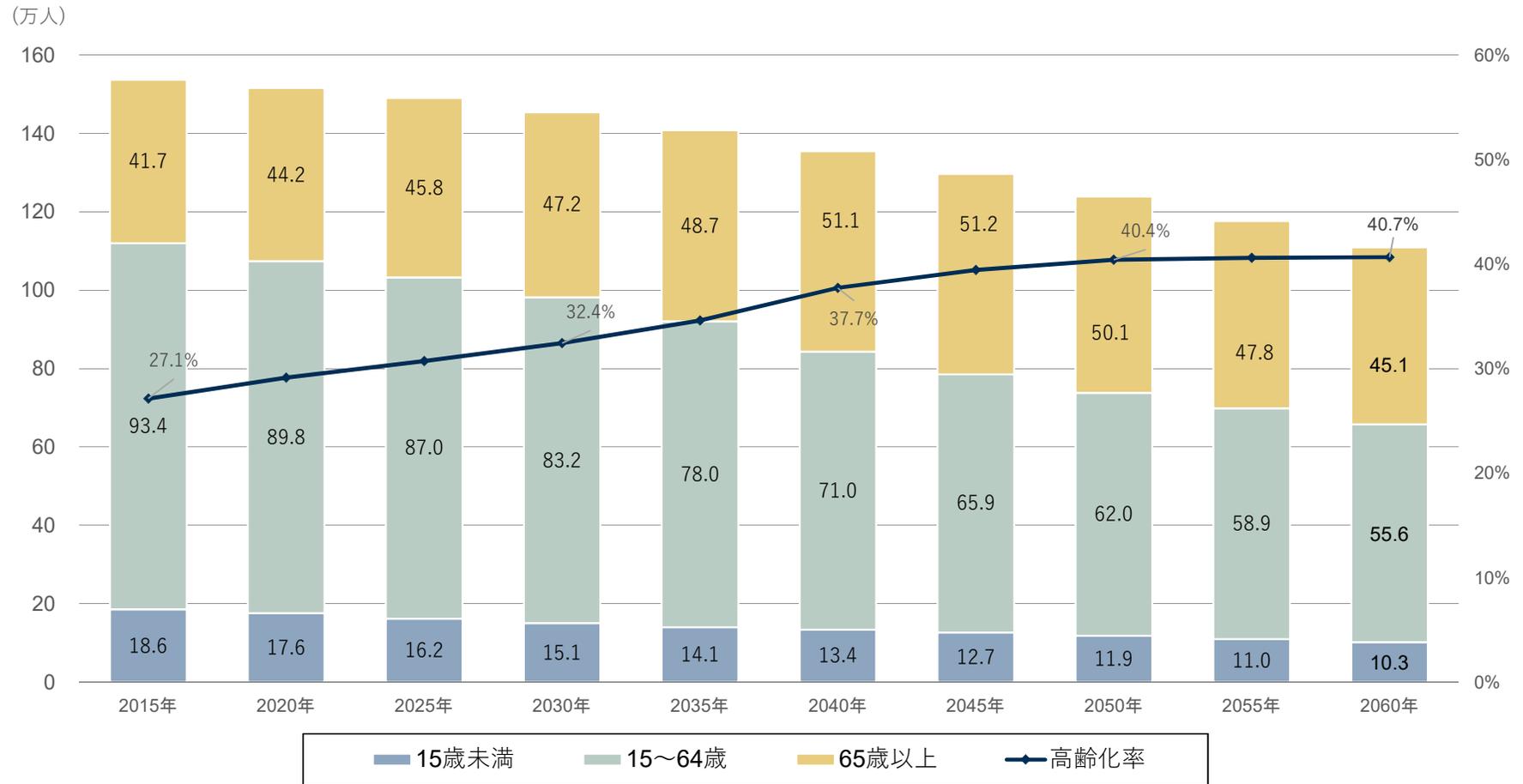


図4 神戸市将来推計人口(総人口)



資料「神戸人口ビジョン(改定版)」より

図5 神戸市将来推計人口(年齢階層別人口)



資料「神戸人口ビジョン(改定版)」より

(2) 情報化の加速度的な進展

G I G Aスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

これまでの
教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの
授業改善

資料：文部科学省リーフレット「GIGAスクール構想の実現へ」より

(3) 新型コロナウイルス感染症対策（ウィズコロナ）

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
 - 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

資料：厚生労働省啓発リーフレットより

IV. 引用資料

- ・ 第3期神戸市教育振興基本計画「明日につなげる新・こうべ教育プラン」
<https://www.city.kobe.lg.jp/a61516/shise/kekaku/education/dai3kiplan.html>
- ・ 神戸市学校施設長寿命化計画
<https://www.city.kobe.lg.jp/a11243/kosodate/education/program/llplan.html>
- ・ 神戸市ICT学習環境整備計画
<https://www.city.kobe.lg.jp/z/kyoikuinkai/ictseibiplan.html>
- ・ 国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（平成30(2018)年推計）
<https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp>
- ・ 神戸人口ビジョン（改定版）
<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/35913/jinkovisionkaitei.pdf>



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



City of Design
KOBE 

- Member of the UNESCO
- Creative Cities Network
- since 2008
-

